

盛岡市遺跡の学び館

平成21年度 館報



台太郎遺跡 第68次調査区全景

盛岡市遺跡の学び館

はじめに

盛岡市は南部盛岡藩の城下町として、また岩手県の県都として、多くの先人が築いた礎のもと、今日まで発展してきました。当市の目指すまちづくりは「人々が集まり、人にやさしい・世界に通ずる元気なまち盛岡」をスローガンとし、また教育施策の基本理念の教育ビジョンでは、「ふるさとの文化の継承・創造・発信」を施策の柱としています。

そのような自然景観や歴史文化が維持され、「杜と水の都」として知られる盛岡市は、岩手山や姫神山などの秀峰を望み、北上川をはじめ、市内をいくつもの清流が悠々と流れ、当館も雫石川南岸に広がる緑豊かな市中央公園の一角に位置しております。広大な公園内には岩手県立美術館・盛岡市先人記念館・盛岡市子ども科学館の博物館・美術館施設も設置され、近隣する原敬記念館を加え、付近は美術・人物・科学・歴史とジャンルの異なる5施設が集中する名実ともに文化の継承・創造・発信のミュージアムゾーンとなっております。

当館は平成16年度に埋蔵文化財の調査・整理・収蔵を行なう埋蔵文化財センター機能と、出土品の展示や遺跡についての体験学習などが行なえる博物館機能を兼ね備えた施設として設置されました。

毎年、発掘調査は市内各所で実施され、21年度は38地点で調査が行われました。特に大規模区画整理事業として平成4年度から実施されている盛南開発事業関連調査では、本宮・向中野地区の4遺跡9地点を対象に行なわれ、また民間開発・市公共事業及び個人住宅建築など、さまざまな要因による発掘調査（本調査・試掘調査）を含めると、平成21年度の調査面積は33,000㎡以上にも及びます。その調査成果は逐次、正式な報告書として刊行しますが、本書では速報として概要をまとめました。

また調査成果を公開・活用を行う学芸事業では、昭和40年代に市内厨川地区で発見された縄文時代草創期から早期の土器群を取り扱い、「最古の土器-盛岡の縄文時代草創期～早期の土器文化-」と題して、企画展や調査報告会を開催いたしました。また地元の考古学者武田良夫さんをお招きし、大新町遺跡を発見・調査を開始して40年と節目の年でもあることから、武田さんに当時の遺跡発見のエピソードや岩手県の考古学史にも残る貴重な研究史についての特別講演会を行っていただき、好評を博しました。

併せて企画展のほかに、体験学習事業など多様な事業も実施してまいりましたが、これからも市民をはじめ、多くの皆様をお迎えできるよう、内容の充実を図りまして職員一同励んでいきたいと存じます。今後とも関係各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年2月

盛岡市遺跡の学び館

館長 亀山 助正

例 言

- 1 本書は、盛岡市遺跡の学び館の平成21年度館報である。
- 2 本書の編集執筆は、当館職員が協議して行った。
- 3 IV-3の埋蔵文化財発掘調査の記載内容は、平成21年度に当館が行った発掘調査の概略をまとめたもので、一部の遺跡については報告書刊行済みであるが、大半は今後別途刊行予定である。
- 4 IV-3の埋蔵文化財発掘調査の記載についての例言は以下のとおりである。
 - (1) 遺構の平面位置は平面直角座標X系を座標変換した調査座標で表示した。なお、座標は日本測地系を使用している。調査座標軸は第X系に準じる。座標原点は以下のとおりである。
 - ・稲荷町遺跡 X = -32,200.000 Y = +24,000.000
 - ・西黒石野遺跡 X = -29,000.000 Y = +27,000.000
 - (2) 高さは標高値をそのまま使用している。
 - (3) 土層図は堆積の仕方を重視し、線の太さを使い分けた。土層注記などは本文でふれる以外は割愛した。層相の観察にあたっては、『新版標準土色帖』（1994小山正忠・竹原秀雄）を参考にした。
 - (4) 遺構記号は竪穴住居跡：R A、建物跡：R B、柱列跡：R C、土坑：R D、竪穴：R E、焼土遺構 R F、溝跡：R G、配石・集石遺構：R H、古墳など：R Xとした。
但し、志波城跡の関連遺構である新堰端遺跡の溝跡については城柵・城館の遺構記号に従い、「S D」とした。
 - (5) 本書に使用した地図は、「盛岡広域都市計画図1:10,000」、「盛岡市遺跡地図2008年版」ほかを縮小して使用。スケールは任意であるが、およそ1:15,000～1:20,000である。
 - (6) 発掘調査にともなう記録や出土遺物は、当館で保管している。

目 次

はじめに 例言 目次

I	沿革	1
II	施設概要	2
III	管理運営 条例・規則等 職員体制	4
IV	事業概要	
1	管理運営	5
	・遺跡ネットワーク整備委員会 ・利用者数一覧	
2	学芸事業	7
3	埋蔵文化財発掘調査	15
	○学術調査	17
	○公共事業関連	17
	○民間開発関連	20
	○個人住宅建築等	26
	報告書抄録	29

I 沿 革

1 (仮称) 盛岡市文化財センター建設事業

平成12年12月24日未明の「文化財調査室」の火災事故以後、防災に強い施設整備に向けて、平成13年5月より(仮称)盛岡市文化財センター建設構想に係る庁内外との協議(企画調整課・財政課・管財課・契約検査課・公園緑地課・建築営繕課・地域整備公団)を開始し、総合計画との関連及び予算措置・建設用地等についての協議をおこなった。各関係機関との協議を経て、同年7月に文化庁から埋蔵文化財センター建設事業(国庫補助)について、平成14年度の事業実施の方向性を打診。建設用地は市先人記念館・子ども科学館・県立美術館の立地する盛岡市中央公園地内を候補地とし、諸機関との調整の上、同年8月に事業開始となった。

平成13年度は(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計及び展示構想策定業務委託、ボーリングによる地質調査、給排水設備工事を実施。建築基本設計は指名競争入札により業者を決定したが、展示構想策定業務についてはプロポーザル(書類審査)方式で行なうこととし、受託者選定委員会を開催し、業者を選定した。

平成14年度は建築実施設計・展示施設計画策定

業務委託・建築工事・土木工事を実施。実施設計を受け、9月26日から建築工事に着手。14年度では全体の47%が完成した。展示施設計画策定業務委託では展示構想に基づき、展示室内における展示手法・演出方法等について検討し、展示施設製作に向けての方向性を策定した。

平成15年度は建設事業の最終年度にあたり、建築工事・展示施設製作・簡易リフト設置工事・敷地植栽工事・備品購入を実施した。建築工事は11月28日に完了し、12月下旬には津志田地内にあった「文化財室」(旧中央卸売市場事務所棟)から文化財調査資料整理作業の機能を移転し、当施設において作業を開始した。

展示施設製作は11月まで施工会社での模型や展示什器、各種演出に係る装置の製作を行い、11月の施設引渡しを受けて現地での製作に着手。各種グラフィックパネルの製作を経て、翌年の2月25日に作業を完了。各種備品購入や機器取り付けも同3月までに完了し、施設名称を「盛岡市遺跡の学び館」と定め、平成16年6月1日に開館式典を挙行し、同日開館した。

2 事業経過

平成13年度	「(仮称)盛岡市文化財センター建築基本設計」策定、展示構想策定業務、地質調査
平成14年度	建築実施設計、展示施設計画、建築工事・土木工事
平成15年度	建築工事・土木工事、展示施設製作業務委託、盛岡市遺跡の学び館設置条例制定
平成16年度	盛岡市遺跡の学び館施行規則制定
平成16年6月1日	盛岡市遺跡の学び館開館
平成22年3月末	開館以来利用者数75,757人

3 事業費等

・建設事業費 677,123千円（国庫補助210,000千円・県補助105,000千円）

総事業費	677,755千円	建築設計	株式会社三衡設計舎
建築設計委託	24,985	展示施設構想策定・製作	株式会社丹青社
建築工事費	455,490	建築主体工事	株式会社阿部正工務店
土木工事費	43,543	敷地造成工事	有限会社東北農林建設
展示計画策定業務委託	8,820	電気設備工事	新興電機株式会社
展示施設製作業務委託	91,308	給排水設備工事	有限会社門坂工業
備品購入費	44,700	機械設備工事	中央水道土木株式会社
その他	6,909	地質調査業務委託	旭ボーリング株式会社
		敷地植栽工事	株式会社やまいわ
		簡易リフト設置工事	三機商事株式会社

II 施設概要

施設の名称と位置		名称	盛岡市遺跡の学び館			設置	平成16年3月31日
		住所	岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1			開館	平成16年6月1日
施設の概要		構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造平屋（一部重層）				
		敷地面積	5,788.8㎡	建築面積	2,639.9㎡	延床面積	2,748.72㎡
室名と面積	展示部門	常設展示室(450.8㎡)、企画展示室(81.4㎡)、展示器材室					
	教育普及部門	研修室(117.0㎡)、図書資料室(47.7㎡)、図書室(66.3㎡)、体験学習室(70.9㎡)、研修機材室、学習器材室等					
	収蔵部門	保管展示室(897.3㎡・1階517.8㎡・2階379.5㎡)、特別収蔵室(46.5㎡) 写真収蔵室(27.2㎡)、図面収蔵室(27.2㎡)					
	調査整理部門	資料整理室(237.2㎡)、遺物洗浄室(37.1㎡)、写真撮影室(28.8㎡)、保存処理室(14.7㎡)					
	管理部門	会議室(30.8㎡)、事務室(157.7㎡)、荷解室(24.5㎡)、休憩室(12.7㎡)					

【収蔵資料】

資料区分	細区分	内 容	点 数
考古資料	調査資料 (完形品等)	・土器・土製品・石器・石製品・陶磁器・鏡・古銭 ・金属器・木製品・瓦・装身具・小判・経石等	約5,300点
	調査資料 (破片等)	・プラスチックコンテナ収納(土器・石器破片、骨角器、 自然遺物含む) ※大コンテナ503×700×397mm、小コ ンテナ387×586×142mm	大300箱 小15,500箱
	寄贈・寄託資料	・奥健夫氏寄贈考古資料 ・一本松経塚・安倍館遺跡出土遺物ほか	1,740点 2点
標本等	模型・レプリカ	・模型・レプリカ・土壌サンプル等	—
調査記録資料	図面	・図面（原図・第2原図・遺物実測図等）	約3,200枚
	写真	・写真（モノクロ・カラーネガ：35mm、6×7、4×5） ・カラースライド（35mm、6×7） ・デジタル画像（700MB:CD・DVD）	約130,000コマ 約44,000コマ 約200枚

Ⅲ 管理運営

1 条例・規則等

盛岡市遺跡の学び館条例 平成16年3月31日条例第29号

(趣旨)
第1条 この条例は、遺跡の学び館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)
第2条 市民の教育及び文化の向上に資するため、出土した埋蔵文化財を展示し、及び遺跡について体験的に学習する場を提供する施設として、遺跡の学び館を次表のとおり設置する。

名 称	位 置
盛岡市遺跡の学び館	盛岡市本宮字荒屋13番地1

(使用の許可等)
第3条 遺跡の学び館を使用しようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 教育委員会は、遺跡の学び館の使用が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、前項の許可をしないものとする。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
 - (2) 施設又は設備を汚損し、損傷し、又は亡失するおそれがあるとき。
 - (3) 前2号に掲げるもののほか、遺跡の学び館の管理上適当でないとき。
- 3 教育委員会は、遺跡の学び館の管理上必要があると認めるときは、第1項の許可に条件を付することができる。

第4条 埋蔵文化財に関する資料の撮影、複写等をしようとする者は、教育委員会の許可を受けなければならない。

2 前条第2項及び第3項の規定は、前項の許可について準用する。

(許可の取消し等)

第5条 教育委員会は、遺跡の学び館の管理上必要があると認めるとき又は第3条第1項の許可を受けた者(以下「使用者」という。)若しくは前条第1項の許可を受けた者(以下「特別利用者」という。)が次の各号のいずれかに該当するときは、第3条第1項若しくは前条第1項の許可を取り消し、第3条第3項(前条第2項において準用する場合を含む。以下同じ。)の条件を変更し、又は行為の中止若しくは遺跡の学び館からの退去を命ずることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく処分に違反したとき。
- (2) 偽りその他の不正の手段により第3条第1項又は前条第1項の許可を受けたとき。
- (3) 第3条第1項又は前条第1項の許可を受けた後において第3条第2項各号(前条第2項において準用する場合を含む。)のいずれかに該当するに至ったとき。
- (4) 第3条第3項の条件に違反したとき。

(禁止行為)

第6条 使用者又は特別利用者は、遺跡の学び館において次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 許可を受けずに物品の販売その他の商行為をすること。
- (2) 許可を受けずに印刷物、ポスター等を掲示し、又は配布すること。

(使用料)

第7条 使用者から別表に定める使用料を徴収する。

2 前項に定めるもののほか、附属の設備を使用する者から規則で定める使用料を徴収する。

3 使用料は、第3条第1項の許可の際に徴収する。

(使用料の減免)

第8条 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、使用料を減免することができる。

- (1) 障害者基本法(昭和45年法律第84号)第2条に規定する障害者(以下「障害者」という。)及び当該障害者の介護を行う者が遺跡の学び館の展示室を使用するとき、障害者が遺跡の学び館の研修室又は体験学習室を個人で使用するとき並びに遺跡の学び館を障害者の福祉の増進に資するものと市長が認めたものに使用するとき(営利を目的とする場合を除く。)
- (2) 市の区域内に住所を有する65歳以上の者が遺跡の学び館の展示室を使用するとき。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が公益上その他特別の理由があると認めるとき。

(使用料の不還付)

第9条 既納の使用料は、還付しない。ただし、使用者の責めに帰すことができない理由により遺跡の学び館を使用できなかったときその他特別の理由があると市長が認めたときは、使用料の全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償)

第10条 使用者又は特別利用者は、自己の責めに帰すべき理由により施設、設備又は展示物を汚損し、損傷し、又は亡失したときは、教育委員会の指示するところにより原状に回復し、又は損害を賠償しなければならない。

(職員)

第11条 遺跡の学び館に館長のほか必要な職員を置く。

(委任)

第12条 この条例に定めるもののほか、第7条から第9条までについて必要な事項は市長が、その他遺跡の学び館の管理について必要な事項は教育委員会が定める。

附 則

1 この条例は、教育委員会規則で定める日から施行する。

(平成16年教育委員会規則第7号で平成16年6月1日から施行)

2 盛岡市都市公園条例(昭和52年条例第10号)の一部を次のように改正する。

[次のよう]略

別表(第7条関係)

(1) 展示室の使用料

区分	個人使用料(1人1回につき)	団体使用料(1人1回につき)
一般	200円	160円
中学校生徒及び小学校児童	100円	80円

備考

- 1 団体使用料は、20人以上の団体で責任者のあるものについて適用する。
- 2 規則で定める日に規則で定める中学校生徒及び小学校児童が5人以上で使用する

場合におけるこの表の適用については、「100円」とあるのは「50円」と、「80円」とあるのは「40円」とする。

(2) 研修室及び体験学習室の使用料

区分	午前9時から 午前正午まで		
	西側	東側	午後1時から 午後5時まで
研修室	1,000円	2,000円	1,300円
体験学習室	2,100円	2,800円	2,300円

盛岡市遺跡の学び館管理運営規則

平成16年5月31日教育委員会規則第8号
改正 平成17年3月29日教育委員会規則第4号

(趣旨)

第1条 この規則は、遺跡の学び館の管理運営の基本的事項に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 遺跡の学び館の開館時間は、午前9時から午後5時までとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(休館日)

第3条 遺跡の学び館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、臨時に開館し、又はこれら以外の日に臨時に休館することができる。

- (1) 月曜日(その日(元日を除く。)が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)に当たるときは、その日後においてその日に最も近い休日でない日)
- (2) 毎月の最終の火曜日(休日を除く。)
- (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日

一部改正(平成17年教委規則4号)

(許可の申請)

第4条 盛岡市遺跡の学び館条例(平成16年条例第29号。以下「条例」という。)第3条第1項の許可のうち、遺跡の学び館の展示室の使用の許可を受けようとする者は、前項の申請は、研修室等を使用しようとする日の5日前までにしなければならない。ただし、教育長が遺跡の学び館の管理運営上支障がないと認めるときは、この限りでない。

2 条例第3条第1項の許可のうち、遺跡の学び館の研修室又は体験学習室(以下「研修室等」という。)の使用の許可を受けようとする者は、盛岡市遺跡の学び館研修室等使用許可申請書を教育長に提出しなければならない。

3 前項の申請は、研修室等を使用しようとする日の5日前までにしなければならない。ただし、教育長が遺跡の学び館の管理運営上支障がないと認めるときは、この限りでない。

(許可書等の交付)

第5条 教育長は、遺跡の学び館の展示室に係る条例第3条第1項の許可をしたときは、次の各号に掲げる使用の態様に応じ、当該各号に定める許可書又は入場券を交付するものとする。

- (1) 団体使用 盛岡市遺跡の学び館展示室団体入場許可書
- (2) 個人使用 盛岡市遺跡の学び館展示室入場券

2 教育長は、研修室等に係る条例第3条第1項の許可をしたときは、盛岡市遺跡の学び館研修室等使用許可書を交付するものとする。

(許可証等の提示)

第6条 条例第3条第1項の許可を受けた者は、遺跡の学び館を使用しようとするときは、前条の規定により交付された許可書又は入場券を所定の場所で職員に提示しなければならない。

(資料の特別利用)

第7条 条例第4条第1項の許可を受けようとする者は、盛岡市遺跡の学び館資料特別利用許可申請書を教育長に提出しなければならない。

2 教育長は、条例第4条第1項の許可をしたときは、盛岡市遺跡の学び館資料特別利用許可書を交付するものとする。

(補則)

第8条 この規則に定めるもののほか、遺跡の学び館の管理について必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、条例の施行の日(平成16年6月1日)から施行する。

附 則(平成17年教委規則第4号)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

盛岡市遺跡の学び館の使用料に関する規則

平成16年5月31日教育委員会規則第27号

(趣旨)

第1条 この規則は、盛岡市遺跡の学び館条例(平成16年条例第29号。以下「条例」という。)の規定に基づき、遺跡の学び館の使用料に関し必要な事項を定めるものとする。

(附属の設備の使用料)

第2条 条例第7条第2項の規則で定める使用料は、別表のとおりとする。

(減免の申請)

第3条 条例第8条の規定による使用料の減免を受けようとする者は、盛岡市遺跡の学び館使用料減免申請書を市長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、条例第8条第1号に規定する障害者に次に掲げる手帳の交付を受けているもの(その者の保護者が交付を受けているときは、本人)又は同号に規定する障害者であることを証する書面を有するもの(以下「手帳被交付者等」という。)及び当該手帳被交付者等の介護を行う者が遺跡の学び館の展示室を個人で

使用する場合並びに手帳被交付者等が遺跡の学び館の研修室又は体験学習室を個人で使用する場合の同項の申請書の提出については、当該手帳被交付者等にあつては当該手帳又は書面の、当該手帳被交付者等の介護を行う者にあつては当該介護を行う手帳被交付者等に係る当該手帳又は書面の提示をもってこれに代えることができる。

- (1) 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第1項の身体障害者手帳
 - (2) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第1項の精神障害者保健福祉手帳
 - (3) 戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項の戦傷病者手帳
 - (4) 知的障害者療育手帳交付規則（昭和49年岩手県規則第57号）第2条の療育手帳
- 3 第1項の規定にかかわらず、条例第8条第2号に規定する者であることを証する書面を有する者が遺跡の学び館の展示室を個人で使用する場合の同項の申請書の提出については、当該書面の提示をもってこれに代えることができる。

（使用料を減額する日）
第4条 条例別表第1号の表の備考2の規則で定める日は、毎月の第2土曜日及び第4土曜日とする。

（使用料を減額する児童）
第5条 条例別表第1号の表の備考2の規則で定める中学校生徒及び小学校児童は、市の区域内に住所を有する中学校生徒及び小学校児童並びに市の区域外に住所を有する者で市の区域内にある中学校（北陵中学校を含む。）及び小学校（月が丘小学校を含む。）に就学しているものとする。

附 則
この規則は、条例の施行の日（平成16年6月1日）から施行する。

別表（第2条関係）

区分	使用料	
	単位	金額
舞台設備	演台（司会用）	1台 390円
	演台（講師用）	1台 520円
	ステージ	1台 130円
音響設備	音響装置	1式 1,500円
	スピーカー	1式 260円
映像設備	マイクロホン	1本 130円
	スライドプロジェクター（ケース付き）	1式 390円
	マルチプロジェクター	1式 1,300円
	ビデオ一体型DVDプレイヤー	1台 390円
	テレビ	1台 260円
実習用設備	電気陶芸窯	1基 2,600円
	電動ろくろ	1台 390円
	手回しろくろ	1台 130円
	グラインダー	1台 390円
	電動糸のご盤	1台 390円
	卓上ボール盤	1台 390円
その他の設備	簡易展示パネル	1式 390円
	移動用スクリーン	1台 130円
	レーザーポインター	1台 130円
	持込機器に係る電気使用	1キロワットまでごとに 100円

備考 午前9時から午後5時まで使用する場合の使用料の額は、この表に掲げる額に2を乗じて得た額とする。

2 職員体制

館 長（兼） 武 藤 英 富（21年度）

館長補佐（兼） 千 田 和 文

[管理・学芸班]

（主査1 主事補1 非常勤3）

主査（兼）	杉 浦 雄 治
主事補（兼）	明 地 幹 子
文化財調査員（非常勤）	吉 田 里 和
学芸調査員（非常勤）	相 馬 容 子
学芸調査員（非常勤）	佐々木 逸 人

[調査班]

（主査2 主任2 非常勤2）

文化財主査（兼）	菊 地 幸 裕
文化財主査（兼）	津 嶋 知 弘
文化財主任（兼）	神 原 雄 一郎
文化財主任（兼）	佐々木 亮 二
文化財調査員（非常勤）	鈴 木 賢 治
文化財調査員（非常勤）	佐々木 紀 子

IV 事業概要

1 管理運営

・盛岡市遺跡ネットワーク整備委員会

盛岡市における中核史跡や重要遺跡の保存活用のため、遺跡整備の基本的方向を定めることを目的として平成12年に設置。遺跡の学び館の開館を機に、当館の運営に関することについても所掌することとした。

【期 日】平成22年2月22日(月) 14:00～15:30 【会 場】当館 研修室

【出席者】委員：委員長 嶋 千秋（盛岡市文化財保護審議会委員）

熊谷 常正（盛岡大学文学部教授）

瀬川 君雄（㈱東広社常務取締役）

大橋文四郎（盛岡市小学校長会岩手大学教育学部附属小学校副校長）

教育委員会 佐藤義見教育次長

武藤英富歴史文化課長兼遺跡の学び館長

歴史文化課及び当館職員

【議 事】報告 ・平成21年度遺跡の学び館事業報告

・関連する文化財保護事業及び史跡整備・保存管理策定業務について

協議 ・平成22年度遺跡の学び館事業計画（案）について



史跡の活用(志波城古代公園)

2 学芸事業

今年度の当館主催の学芸事業として企画展示室においてテーマ展・企画展、21年度調査資料展を開催したほか、市民参加による体験学習会（全5回）、ゴールデンウィーク・夏休み・冬休み期間中の個人体験学習会などを開催した。また発掘調査現地での説明会の実施、学び館特報や普及資料の発行、さらに出前講座、博物館実習をはじめ、各種実習・研修・行政視察等の受入を行った。各種展示普及活用事業及び常設展示室整備・資料管理システム整備には市費及び埋蔵文化財保存活用整備事業（国庫補助）を活用した。

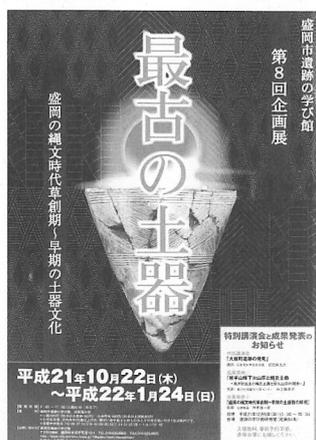
(1) 展示公開・普及活動

【展示会】

タイトル等	テーマ展「遺跡に魅せられた人々-寄贈収蔵資料展-」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成21年6月24日(水)～平成21年9月13日(日)	来場者数	2,258名
展示構成	I 好奇から科学へ、II 山蔭コレクション①小田島禄郎と県北地方の遺跡、②小田島禄郎と米沢直次、III 奥健夫氏の蒐集考古資料と蔵書の展示	展示資料数	846点
概要	平成16年6月の学び館開館以来、これまで当館及び市に寄贈された山蔭新作氏・奥健夫氏蒐集考古資料及び林淑子氏寄贈考古資料を中心に展示公開した。戦前から先人の歴史的遺産に魅了され、その蒐集とご研究に努められた方々をご紹介しますと共に、岩手の考古学の流れを追いながら、蒐集資料を多数展示した。岩手考古学の黎明期に著された『盛岡市史』『岩手県史』掲載された学史的にも貴重な資料も含まれている。		
作成資料	ポスター・チラシ・展示解説及び展示資料一覧		
タイトル等	第8回企画展「最古の土器-盛岡の縄文時代草創期～早期の土器文化-」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成21年10月22日(木)～平成22年1月24日(日)	来場者数	1,339名
展示構成	I 岩手山の分火山灰と遺跡、II 遊動的生活から定住へ、III 土器の登場、IV なぜ、とんがり底か、V 縄文早期のムラ、VI 各遺跡の概要、VII 武田良夫さんと大新町遺跡の発見	展示資料数	546点
概要	盛岡周辺は縄文時代草創期（約12,000年～10,000年前）から早期（約10,000年～6,000年前）の間、安定した生業・生活の中で育まれた数々の土器文化が開花し、器形・文様など造形的にもバリエーションに富んだ数多くの土器が発見されている。本展示では草創期の爪形文土器、早期の押型文・沈線文土器群を大量に出土した大新町遺跡を始め、北上川本流域の遺跡から出土した盛岡地域最古の土器文化の様相について資料集をまとめ、主な尖底土器を中心に展示公開した。		
作成資料	資料集・ポスター・チラシ・展示解説及び展示資料一覧		
タイトル等	第27回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘するー平成21年度調査速報ー」	会場	当館企画展示室
開催期間	平成22年2月16日(火)～平成22年6月20日(日)	来場者数	2,324名
展示構成	西黒石野遺跡、繫V遺跡、西鹿渡遺跡、台太郎遺跡、新堰端遺跡、稲荷町遺跡、高櫓A遺跡	展示資料数	178点
概要	平成21年度に市内で発掘された遺跡の調査概要について、出土遺物・写真・解説パネル等で展示・公開した。		
作成資料	展示パンフレット・ポスター・チラシ・展示資料一覧		



テーマ展チラシ



企画展チラシ



資料展チラシ

【講演会】（企画展関連）

開催日	タイトル・講師	聴講者
平成21年 12月6日(日)	第8回企画展「最古の土器」関連事業「特別講演会と成果発表」 ○特別講演会 演題「大新町遺跡の発見」講師：日本考古学協会会員 武田良夫氏 ○成果発表① ・演題「岩手山降下火山灰と縄文土器～滝沢村出土の縄文土器と分火山灰の関 係～」発表：滝沢村埋蔵文化財センター 井上雅孝氏 ○成果発表② ・演題「盛岡の縄文時代草創期～早期の土器群の様相」 発表：当館職員 神原雄一郎	111名

日本考古学協会員の武田良夫さんが盛岡市大新町遺跡を調査してから平成21年で40年目の節目の年でもあり、当時、組織的な発掘調査の礎を築いた武田さんの調査成果や苦労話についての御講演を頂いた。また同じ大新町遺跡と同じ台地に立地する滝沢村の火山灰と遺跡調査の成果及び盛岡周辺の縄文時代草創期～早期の土器群の様相についての成果発表を行った。



テーマ展「遺跡に魅せられた人々-寄贈収蔵資料展-」



企画展「最古の土器-盛岡の縄文時代草創期～早期の土器文化-」



企画展関連特別講演会



企画展関連成果発表



企画展展示説明会



第27回埋蔵文化財調査資料展

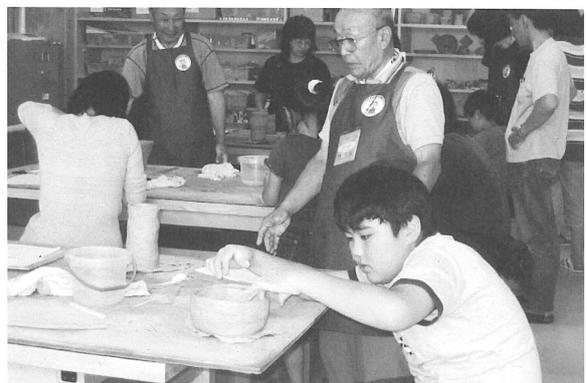
(2) 参加型体験活動

【体験学習会】

開催日	タイトル・講師	参加者
平成21年6月14日(日) 10:00~16:00	第1回「もりおか遺跡めぐりバスツアー」(市内一円) 対応:当館職員・サポーターズクラブ	31名
平成21年7月12日(日) 13:30~16:30	第2回「縄文土器をつくってみよう」(親子) 講師 当館職員・サポーターズクラブ	38名
平成21年9月20日(日) 13:30~15:30	第3回「考古学者になってみよう!遺跡発掘体験」(親子) 講師 当館職員・サポーターズクラブ	38名
平成21年10月4日(日) 10:00~15:30	第4回「日帰り!縄文キャンプ」(親子) 講師 梅津末子氏(料理研究家) 支援:サポーターズクラブ	41名
平成22年2月7日(日) 13:30~16:00	第5回「あけびづるを使ってカゴ作り」(親子) 講師 佐々木光恵氏(工芸家) 支援:サポーターズクラブ	43名



第1回「遺跡めぐりバスツアー」



第2回「縄文土器をつくってみよう」



第3回「考古学者になってみよう!遺跡発掘体験」



第4回「日帰り!縄文キャンプ」



第5回「あけびづるを使ってカゴ作り」

個人体験学習会
PRチラシ

GW ゴールデンウィーク
個人体験学習会
予約なしで体験学習ができます
期間:2009年5月2日(土)~6日(水)まで
体験開始時間:10:00-11:00-13:30-14:30
※GW期間中は休館です

- 勾玉づくり**
所要時間:90~120分程度
料 金:240円
- 土玉彩色**
所要時間:30分程度
料 金:300円
- 箱作り**
所要時間:30分程度
料 金:100円
- 火おこし**
所要時間:20分程度
料 金:無料

土器の模様をしとってかたにします。 古代の道具を使って火をおこします。
石をけずって勾玉にします。 完成後はお持ち帰りいただけます。
お持ち帰りの土器は、お持ち帰りの日までお持ち帰ります。
古代土器に土玉に色を塗ります。 縄文時代の土器のようになります。

〒990-0001 山形県山形市山形 山形県立歴史民俗資料館
TEL:011-835-4000

【個人体験学習会】

催事のタイトル	開催期間	体験学習のメニュー	参加者
ゴールデンウィーク 個人体験学習会	平成21年5月2日(土)～ 5月6日(日)：5日間	時間割：①10:00～ ②11:00～ ③13:00～ ④14:00～ メニュー：勾玉作り・土玉彩色・拓 本づくり(有料)、火おこし(無料)、 対応：当館職員・サポーターズクラ ブ	勾玉作り91名 土玉彩色65名 拓本5名 火おこし306名
夏休み個人体験学習会	平成21年8月5日(水)～ 8月16日(日)：11日間		勾玉作り207名 土玉彩色123名 拓本14名 火おこし523名
冬休み個人体験学習会	平成22年1月6日(火)～ 1月17日(日)：11日間		勾玉作り91名 土玉彩色58名 拓本14名 火おこし253名

昨年までの日程に春のゴールデンウィークを加え、春・夏・冬の3時期に学び館サポーターズクラブの支援を得て、事前予約なしで体験学習が行える機会を提供。期間中のべ1,082名の市民が参加した。



春の体験学習会



体験学習会PR掲示

【遺跡の学び館サポーターズクラブ】

当館の体験学習など行事運営を支援・協力するボランティア団体の「サポーターズクラブ」が発足して4年目を迎えた。本年度の会員数は14名で、当館行事の春・夏・冬の個人体験学習会・バスツアー・土器作り・野焼き・遺跡発掘体験や地元SC施設でのもりとびあねっとPRなどの支援事業を中心に精力的に活動をしていただいた。



館内での支援活動



館外での支援活動

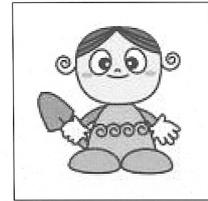
また自主活動として土器作りの技術向上のための勉強会や会員の親睦・史跡見学・他地域のボランティアとの交流を兼ねた研修旅行(研修先：青森県立郷土館・国特別史跡三内丸山遺跡 期日：平成21年11月8日(日))を企画し、13名が参加された。またサポーターズクラブの意見交換や事業記録として「サポーターズ通信」の編集刊行も行った。



研修旅行

【みっけクラブ】

歴史や考古学に興味のある子どもたちに対して、遺跡や文化財について学び、体験する機会を提供するため、小・中学生を対象に募集を行い、年間を通じて体験学習プログラムに沿った活動を行なった。本クラブ名の“みっけ”とは、当館のマスコットキャラクターの愛称で、クラブは平成18年度から募集を開始し、本年度の会員は4期生となり、小学生10名を対象に活動を行なった。会員には年度内有効の会員証を発行し、展示室使用料が免除となる特典がつくほか、当館主催の体験学習会（遺跡めぐりバスツアー、縄文土器をつくってみよう、考古学者になってみよう、日帰り縄文キャンプ、あけびづるを使ってカゴ作り）に率先して参加していただいた。縄文キャンプの竪穴住居づくりでは、お父さん方が柱立てを行い、父権復活の場面も見られた。



みっけ



10月の「日帰り縄文キャンプ」に参加した会員



2月28日のクラブ開校式

(3) 地域連携活動

【もりとびあねっと】

「もりとびあねっと」(もりおかゆいとびあミュージアムネットワーク)は盛岡市中央公園・本宮・太田地区の博物館・美術館6施設(岩手県立美術館・盛岡市原敬記念館・盛岡市子ども科学館・盛岡市先人記念館・盛岡市遺跡の学び館・志波城古代公園)で構成されたネットワークで、平成19年度に設立。施設間の連携により、共同テーマによるイベント・展示会の開催を行い、利用者が美術・歴史・科学・先人(人物)などに対し、多角的に興味関心を持つ機会を提供し、利用促進を図るための企画を展開。平成21年度は「ぐるり☆もりとびあスタンプラリー」の開催、イベントを網羅したリーフレットの作成、隔月情報紙「もりとびあねっとだよ」の刊行、地元SC施設を活用した体験講座及びPR事業などを行なった。



リーフレットとスタンプラリー台紙



地元SCでの体験学習・PR活動

(4) 研修・実習活動

【研修・実習受入】

開催日	内容	依頼団体（会場）	参加者
平成21年4月17日（金）	市教育委員会初任者研修	市教育委員会学校教育課 （遺跡の学び館）	16名
平成21年4月17日（金）	市役所新採用職員研修	市職員課 （遺跡の学び館）	59名
平成21年7月27日（月） ～7月31日（金）	インターンシップ体験実習 （5日間）	盛岡公務員法律専門学校公務員 ビジネス科Ⅲ種・初級コース 1年（遺跡の学び館）	4名
平成21年8月4日（火）	盛岡市教育研究所第1回公開講座	盛岡市教育研究所 （遺跡の学び館）	6名
平成21年8月18日（火） ～8月30日（日）	博物館実習（第1期：5日間、第 2期：7日間）	盛岡大学4名、北海道教育大学 1名（遺跡の学び館）	5名
平成22年1月6日（水）	教職経験者研修10年研修	岩手県立久慈拓陽支援学校 （遺跡の学び館）	1名
平成22年1月13日（水）	盛岡市教育研究所第2回公開講座	盛岡市教育研究所 （遺跡の学び館）	18名
平成22年3月9日（火）	宮古市ふれあい文化ボランティア 視察・研修	宮古市教育委員会 （遺跡の学び館）	12名

当館では、博物館実習をはじめ、各種研修・実習を積極的に受け入れることとしている。当館の博物館施設としてのあり方ばかりではなく、埋蔵文化財センターとしての機能について、実際の発掘現場調査の体験も織り交ぜ、資料の調査・整理・保管・展示活用という一連の流れを実習できるメニューを作成している。



博物館実習（課題発表）



実習生による七夕飾りの製作

(5) 出前講座・講師派遣活動

【出前講座】

開催日時	内容	講師	依頼団体（会場）	参加者
平成21年10月28日（水）	【出前講座】 「もりおかの遺跡－中津川・ 上田地区－」	佐々木亮二 文化財主任	西松園ひまわりクラブ 高齢者（松園地区活動 センター）	30名
平成21年12月27日（日）	【出前体験学習】 米内の歴史を学ぶ（講話と勾 玉づくり）	学芸担当職員及 びサポーター	下米内子ども会 （山岸地区老人福祉セ ンター）	72名 （親子）

もりおかまちづくり出前講座は、盛岡市が市政に対する理解を深め、市民参加のまちづくりを推進するため、それぞれの担当部局の業務内容を中心に、職員を講師として無料で派遣するもので、21年度に当館では2件の依頼を受けて実施した。また当館では市内の各地域に係る遺跡調査の成果を中心とした歴史講話を主体としてメニューを用意しており、地域の自治会行事のほか、学校・自主研修及び子ども会行事等で当館に来館できない場合なども出前講座として職員派遣を行なった。

【講師派遣】

開催日時	内 容	講 師	依頼団体（会場）	参加者
平成21年8月1日(土)	平成21年度ふるさと歴史講座「石器づくり体験」指導	神原雄一郎 文化財主任	釜石市教育委員会 (釜石市立公民館)	20名
平成21年8月29日(土)	「わくわくチャレンジふれあいの日」校舎外活動 トレジャーハンター講師	佐々木亮二 文化財主任	盛岡市立手代森小学校	60名
平成21年10月16日(金)	見前地区公民館「成人講座」遺跡見学と講話「都南地区を掘る！-最近の発掘調査成果から-」	菊地幸裕文化財 主査・佐々木亮 二文化財主任	見前地区公民館（台 太郎遺跡現地・遺跡 の学び館）	24名
平成21年11月3日(火) 文化の日	石器づくり体験学習指導	神原雄一郎 文化財主任	宮古市教育委員会 (宮古市崎山貝塚)	50名



出前体験学習(下米内子ども会)



宮古市ふれあい文化ボランティアとの交流会

(6) 職員研修活動

【専門研修派遣】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場
平成21年12月4日(金)	平成21年度埋蔵文化財発掘調査技術講習会「デジタル写真の撮影方法と印刷工程」	相馬容子 学芸調査員	財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター
平成22年1月28日(木) ～2月5日(金)	埋蔵文化財担当者専門研修「報告書作成課程」	津嶋知弘 文化財主査	独立行政法人国立文化財機構 奈良文化財研究所
平成22年2月3日(水) ～5日(金)	平成21年度文化財等取扱講習会	相馬容子 学芸調査員	財団法人岩手県文化振興事業団岩手県立博物館

【関連会議等出席】

期 間	内 容	派遣職員	主催・会場
平成21年8月27日(木) ～28日(金)	平成21年度岩手県博物館等連絡協議会総会・研修会	千田和文 館長補佐	釜石市陸中海岸グランドホテル

(7) 発掘調査成果の公開及び刊行活動

【現地説明会】

開催日時	遺 跡 名 (所在地)	参加者
平成21年9月26日(土) 13:30～14:30	繫V遺跡第36次調査現地説明会（繫字館市地内）	100名
平成21年10月3日(土) 13:30～14:30	台太郎遺跡第68次調査現地説明会（向中野字台太郎地内）	70名

【埋蔵文化財調査報告書の刊行】

件名	発行日	部数	販売の有無
「盛岡市内遺跡群－平成18・19年度発掘調査報告書 宿田南経塚（宿田南遺跡）－」	平成22年3月12日	350部	公的機関に配布
「繫V遺跡－繫小学校校舎等増改築工事業に伴う緊急発掘調査概要報告書－」	平成22年3月26日	100部	公的機関に配布

【展示会関連刊行物】

件名	発行日	部数	販売の有無
第8回企画展「盛岡の縄文時代草創期～早期の土器文化」 【資料集】	平成21年11月30日	700部	300円
第27回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する－平成21年度調査速報－」解説パンフレット	平成22年2月16日	2,000部	無料配布
遺跡の学び館特報	平成20年3月	500部	無料配布

当館実施の発掘調査や展示会の成果を普及資料として広く公表するため、展示会資料集・解説パンフレット及び関係機関や学校などに配布する機関誌「特報」などを作成した。



繫V遺跡第36次調査現地説明会（9月26日）



台太郎遺跡第68次調査現地説明会（10月3日）

(8) 図書整備活動

【寄贈図書及び購入図書】

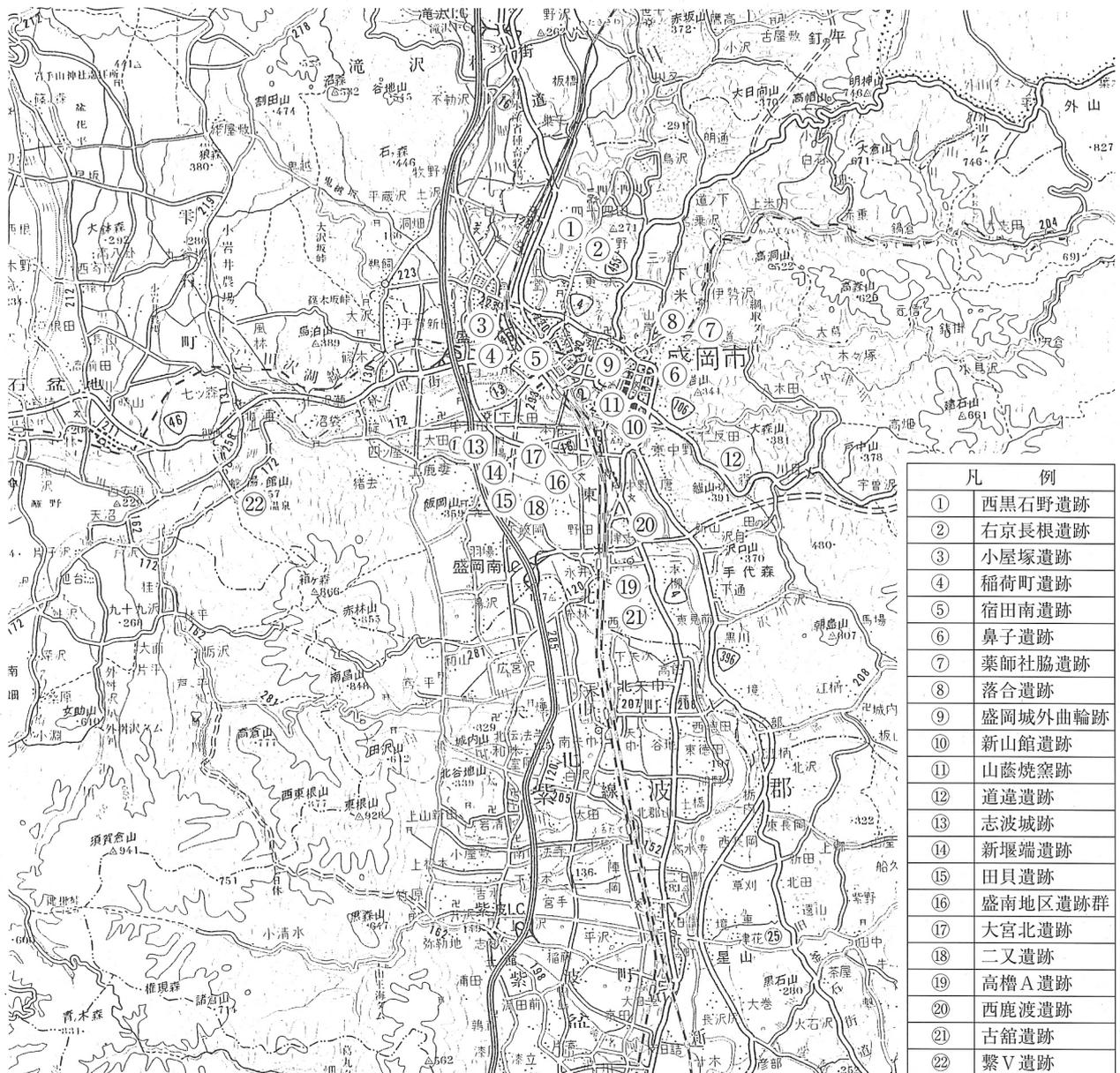
(冊)

形態	分野	内容	寄贈・購入冊数		計
			平成20年度末	平成21年度増加分	
発掘調査報告書		本報告・概報・概説書など	12,373	1,088	13,461
一般図書	考古学	日本史・郷土史など	157	36	193
	歴史学	民具・民俗芸能など	88	36	124
	民俗学	絵画・彫刻・建造物など	3	1	4
	美術工芸	動植物など	26	1	27
	自然科学	一般文化財・保存計画・保存処理・復元など	3	0	3
	文化財保護	辞典・事典など	7	0	7
	その他	図録・解説書・パンフ・レジユメなど	7	12	19
資料集		3冊以上	1,087	179	1,266
全集		論文集など	343	23	366
論集		市町村史	33	4	37
通史		雑誌・年報・館報・紀要・研究報告など	240	4	244
逐次刊行物			2,954	354	3,308
計			17,321	1,738	19,059

埋蔵文化財センターとして、全国各地の遺跡発掘調査報告書や論文集及び歴史関連図書、一般刊行物、各種パンフレットなどの資料を主体に保管収集している。これらの蔵書は図書室の開架棚で来館者が自由に閲覧できるものと、図書資料室に収蔵のうえ、受付に申し出て閲覧できる図書に区分している。

3 埋蔵文化財発掘調査

平成21年度に市教育委員会が実施した発掘調査は遺跡の学び館及び事務局歴史文化課が担当した試掘調査が24件、遺跡の学び館が担当した本調査が14件の計38件である。内訳は史跡の学術調査1件（2地点）、大規模区画整理事業関連による調査（試掘含む）が9件、学校増改築・公共福祉施設・公共下水道敷設工事等に伴う調査が3件、宅地造成等の民間開発による調査が4件、民間共同住宅・事務所建築等に伴う調査が12件、個人住宅建築等に伴う調査が9件で、調査総面積は33,776㎡となっている。その多くは盛岡南新都市開発整備事業（盛南開発）関連調査で、4遺跡9地点で実施され、調査面積は23,750㎡で全体の7割を占める。市域で調査が多く実施されたのは志波城跡を中心とした太田地区13地点、盛南開発の飯岡地区が11地点と半数以上を占め、他に上田地区2地点、厨川地区4地点、中津川地区3地点、築川地区3地点、繫地区1地点、盛岡城跡を取り巻く旧市街地区1地点となっているが、玉山地区では21年度は調査等は実施されていない。本館報では遺構・遺物が検出された発掘調査（学術調査・試掘調査）を主体に記述し、その他については一覧表での記載に留めた。



第2図 平成21年度調査遺跡位置図（S=1:200,000）

表2 平成21年度埋蔵文化財発掘調査(本調査・試掘調査)一覽

(歴史文化課・遺跡の学び館調査分)

No.	遺跡名	回数	所在地	調査事由	調査期間	調査面積 (㎡)	遺構・出土遺物
1	国指定史跡志波城跡	103	A区:下太田方八丁17 地内 B区:下太 田方八丁68地内	学術調査 (史跡整備に係る 遺構内容確認)	10/19~12/18	1,159	政庁北側:A区587㎡, B区572㎡:近現代以 降の土坑状の掘削痕10箇所、風倒木痕3箇所、 遺物(平安時代の土師器・あかやき土器・須 恵器破片10点、近現代の陶磁器破片5点)
2	飯岡沢田遺跡	13	飯岡新田1地割48-1ほか	土地区画整理	12/16~12/24	4,292	表土除去と遺構確認作業(未精査) ※21年度継続調査
3	本宮熊堂B遺跡	33	本宮字熊堂55-1ほか		5/7~5/31	618	古代以降の溝跡1条、遺物(縄文土器破片、 平安時代の土師器・あかやき土器破片など)
4	台太郎遺跡	65	向中野字向中野40-16ほか		4/17	330	遺構・遺物なし
5	台太郎遺跡	67	向中野字八日市場23-1 ほか		5/7~7/28	856	奈良・平安時代の竪穴住居跡2棟、土坑1基、 溝跡1条、遺物:奈良・平安時代の土器破片 307点(土師器環・甕、あかやき土器・須恵器 など)、鉄製刀子2点など
6	台太郎遺跡	68	向中野字八日市場30-1 ほか		7/1~11/6	1,234	奈良・平安時代の竪穴住居跡12棟、土坑9基、堀 跡2条、溝跡2条、ピット124口、遺物(奈良・平 安時代の土師器・あかやき土器・須恵器などコン テナ3箱、土製紡錘車1点、鉄製刀子1点など)
7	台太郎遺跡	69	向中野字向中野18-4ほか		10/1~10/9	76	遺構・遺物なし
8	台太郎遺跡	70	向中野字向中野13-1ほ か		10/21~12/24	1,914	奈良・平安時代の竪穴住居跡4棟、竪穴状遺 構4基、溝跡2条、遺物(土師器・あかやき 土器・須恵器)コンテナ3箱
9	夕覚遺跡(試掘調査)	5	飯岡新田第6地割14ほか		7/29	3,453	遺構・遺物なし
10	夕覚遺跡(試掘調査)	6	飯岡新田第5地割41ほか		9/3~9/7	10,977	遺構・遺物なし
11	繫V遺跡	36	繫字館市114-1		小学校校舎増改築	5/7~12/24	1,752
12	稲荷町遺跡	25	大館町322番1ほか	共同住宅建築	5/10~5/26	540	江戸時代以降の掘立柱建物跡2棟、竪穴状遺構1 基、土坑2基、溝跡1条、柱穴約130口、遺物(16 世紀末~17世紀初頭の陶磁器破片など)
13	西黒石野遺跡	12	黒石野2丁目28-1ほか		6/1~6/22	430	縄文時代陥し穴状遺構10基、江戸時代以降の 大溝跡1条、時期不詳の溝跡1条、土坑1基、 遺物(縄文土器、江戸時代の陶磁器破片)
14	高槽A遺跡	5	永井第24地割34-2ほか	宅地造成	6/29~7/15	1,400	奈良時代の竪穴住居跡9棟、土坑6基、溝跡 1条、焼土遺構1基、遺物(奈良時代の土師 器:コンテナ5箱、土製紡錘車1点など)
15	新堰端遺跡	11	下太田新堰端2-9	個人住宅建築	8/19~8/31	233	志波城関連の溝跡1条、遺物(土師器甕)
16	西鹿渡遺跡	23	三本柳第2地割16-35ほ か		6/1~6/12	80	時期不詳の竪穴状遺構1基、土坑3基、遺物 (奈良時代の土師器環・甕破片約100点)
17	高槽A遺跡(試掘 調査)	4	永井第24地割34-2ほか	宅地造成	4/6	289	奈良・平安時代の竪穴住居跡6棟確認、同時 代の土器破片を検出
18	古館遺跡(試掘調 査)	9	西見前第15地割9-1	共同住宅建築	4/10	70	平安時代の竪穴住居跡2棟・土坑3基確認、 同時代の土器破片を検出(遺構保存措置)
19	鼻子遺跡(試掘調 査)	1	東新庄2丁目81-1ほか	民間福祉施設建設	5/28	138	遺構・遺物なし
20	大宮北遺跡(試掘 調査)	15	本宮字小幡2-1	駐車場造成	5/19	244	平安時代の掘立柱建物跡柱穴1口、土坑7基、 溝跡1条を確認 同時代の土器破片を検出 (遺構保存措置)
21	薬師社脇遺跡(試 掘調査)	7	浅岸字橋場19-1ほか	宅地造成	6/1	513	平安時代の竪穴住居跡10棟、土坑9基、ピット23口 確認、縄文~平安時代の土器破片を検出(工事中止)
22	盛岡城外血輪跡(試掘調査)	9	中央通1丁目98-7	診療所等建設	6/22	130	遺構・遺物なし
23	志波城跡隣接地遺 跡(試掘調査)	-	上鹿妻五兵衛新田28- 13ほか	事務所建設	7/6	95	遺構・遺物なし
24	落合遺跡(試掘調 査)	16	下米内1丁目139-1の一 部	個人住宅建築	8/11	96	時期不詳の土坑1基、ピット3口及び縄文時 代後期~晩期の遺物包含層(土器・石器)を確 認(遺構保存措置)
25	新堰端遺跡(試掘調 査)	10	下太田新堰端2-9	個人住宅建築	8/11	45	平安時代の志波城跡関連大溝跡1条確認
26	田貝遺跡(試掘調 査)	13	上鹿妻田貝40-1ほか	下水道工事	2009/9/7~ 12/9(随時)	363	平安時代の竪穴住居跡3棟、時期不詳の溝跡 1条を確認 平安時代の土器破片を検出
27	新堰端遺跡(試掘調 査)	12	下太田新堰端2-13	個人住宅増築	9/18	3	遺構・遺物なし
28	宿田南遺跡(試掘調 査)	10	北夕顔瀬町26-5ほか	個人住宅建築	9/25	56	遺構・遺物なし
29	西鹿渡遺跡(試掘調 査)	24	三本柳2-39-64ほか		10/7	43	遺構・遺物なし
30	小屋塚遺跡(試掘調 査)	37	大新町101-1		10/19	537	遺構・遺物なし
31	稲荷町遺跡(試掘 調査)	26	大館町328-11ほか	共同住宅等建築	10/26	80	中・近世の溝跡1条確認、16世紀末~17世紀 初頭の陶器破片を検出(遺構保存措置)
32	二又遺跡(試掘調 査)	8	下飯岡第1地割34-11ほか	個人住宅建築	10/26	118	近現代以降の溝跡1条
33	新山館遺跡(試掘 調査)	11	茶畑2丁目31-1ほか	駐車場造成	12/24	92	平安時代の竪穴住居跡2棟、中世以降の溝跡3条 確認、平安時代の土器破片を検出(遺構保存措置)
34	西鹿渡遺跡(試掘 調査)	25	三本柳第2地割32-1	民間福祉施設建設	12/25	282	奈良時代の竪穴住居跡2棟確認、同時代の土 器破片を検出(次年度本調査予定)
35	山蔭焼窯跡(試掘 調査)	1	茶畑1丁目2-23ほか	共同住宅等建築	2/18	56	遺構なし 遺物では江戸後期の山蔭焼磁器破 片を検出
36	石京長根遺跡(試 掘調査)	2	緑が丘1丁目59-1ほか	宅地造成	3/2~3/4	1,011	縄文時代の陥し穴状遺構7基、時代不詳の土 坑1基を確認(工事中止)
37	二又遺跡(試掘調 査)	9	下飯岡第1地割56-9	個人住宅建築	3/4	171	平安時代の竪穴住居跡6棟確認、同時代の土 器破片を検出
38	道達遺跡(試掘調 査)	2	川川第10地割76-1ほか	公共福祉施設建設	3/9	412	遺構・遺物なし
						計	33,776

○学術調査

国指定史跡志波城跡第103次（A区・B区）調査

- | | | | |
|--------|-----------------------|--------|--------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市下太田方八丁17、68 | 2 調査事由 | 学術調査 |
| 3 調査方法 | 遺構確認調査 | 4 調査期間 | 平成21年10月19日～12月18日 |
| 5 調査面積 | 1,159㎡（A区587㎡、B区572㎡） | 6 調査員 | 津嶋知弘 |
- 7 検出遺構 政庁北側：近現代以降の土坑状の掘削痕10箇所、風倒木痕3箇所
- 8 出土遺物 平安時代の土師器・あかやき土器・須恵器破片10点、近現代の陶磁器破片5点
- 9 調査概要 遺跡は市街地の南西部、北下川と雫石川で形成された低位沖積段丘面に立地。昭和51年度以降の緊急調査や学術調査により、遺跡の範囲・規模などの基本的構造が明らかになり、その重要性から昭和59年に国史跡に指定。今次調査区は政庁北方の2箇所、西側のA区と東側のB区に設定し、政庁北方における遺構分布の確認を目的として調査を実施したが、近現代の土坑状攪乱9箇所が検出されたのみで、平安時代の志波城期に相当する遺構は確認されなかった。



志波城跡第103次調査区位置図

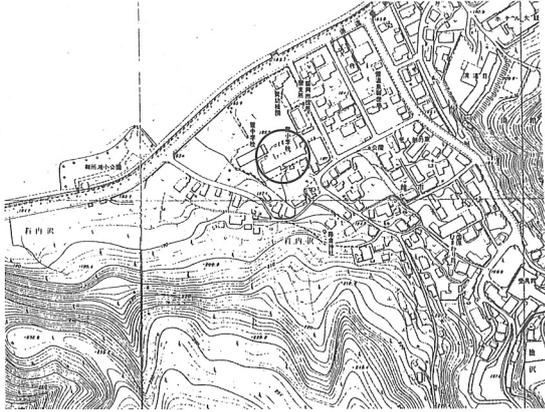


第103次調査区A区全景

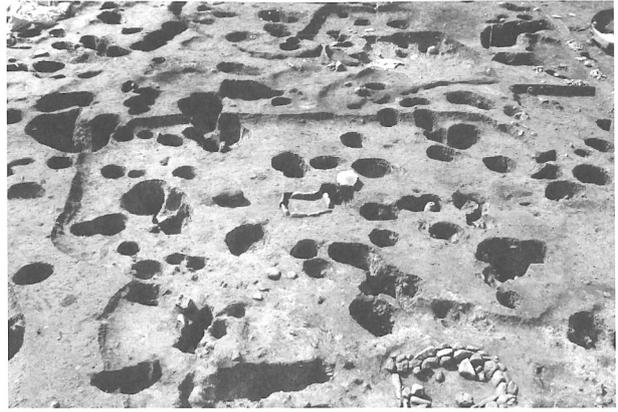
○公共事業関連（市公共工事関連）

(1) 繫V遺跡第36次調査（20年度からの継続調査）

- | | | | |
|--------|--------------|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市繫字館市114-1 | 2 調査事由 | 学校増改築工事 |
| 3 調査方法 | 本調査 | 4 調査期間 | 平成21年5月7日～12月24日 |
| 5 調査面積 | 1,752㎡ | 6 調査員 | 神原雄一郎 佐々木紀子 |
- 7 検出遺構 縄文時代竪穴住居跡13棟、土坑51基、柱穴271口
- 8 出土遺物 縄文土器・石器
- 9 調査概要 遺跡は市街地の西部、東流する雫石川（御所湖）の南岸の段丘上に立地。調査区は昭和26年（1951）の繫小学校（当時）の校庭整地工事の際に発見された、後の重要文化財深鉢形土器7個体（伏甕）の出土地点に隣接する。「伏甕」は竪穴住居の床面下部に深鉢形土器を逆位に埋納した特殊な遺構で、今次調査でも上記の重要文化財の個体と同時期の伏甕が検出された。



繫V遺跡第36次調査区位置図



縄文時代の竪穴住居跡の出土状況



縄文時代の遺物包含層



「伏甕」の出土状況

(2) 田貝^{たがい}遺跡第13次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|------------|
| 1 調査地 | 盛岡市上鹿妻田貝40-1ほか | 2 調査事由 | 下水道污水管敷設工事 |
| 3 調査方法 | 試掘調査～本調査 | | |
| 4 調査期間 | 平成21年9月7日～12月9日の間(延べ10日間) | | |
| 5 調査面積 | 363㎡ | 6 調査員 | 今野公顕 |
| 7 検出遺構 | 平安時代の竪穴住居跡3棟 | 8 出土遺物 | 平安時代の土器破片 |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地の南西部、平安時代の城柵志波城跡外郭南辺から南方300mに位置する。北上川と雫石川によって形成された沖積段丘面に立地し、調査は下水道敷設部分内で行なわれ、竪穴住居跡は現地表面より約0.7～1.6m下方の漸移層及び地山シルト層で検出された。 | | |



田貝遺跡第13次調査区位置図

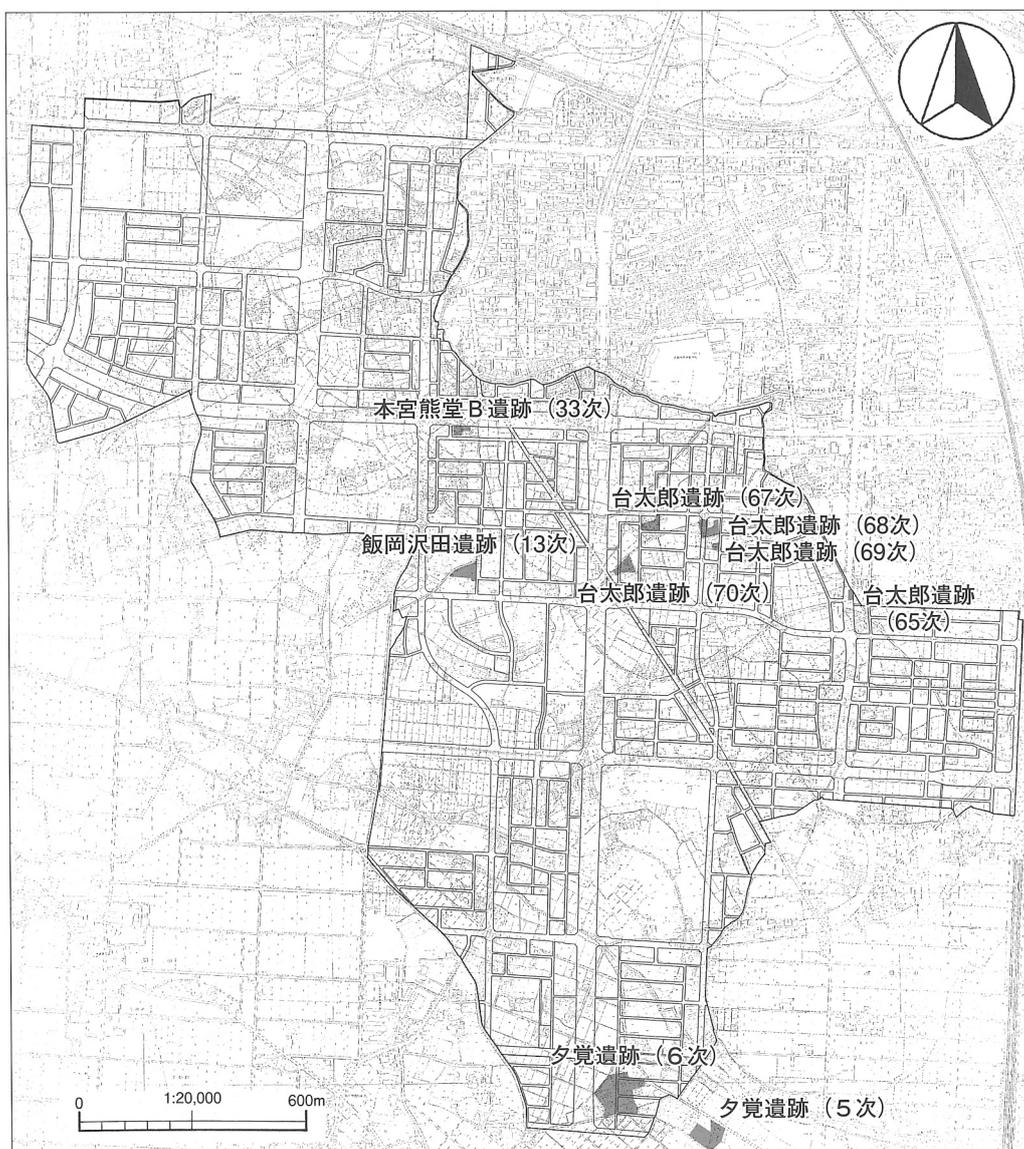


調査区全景

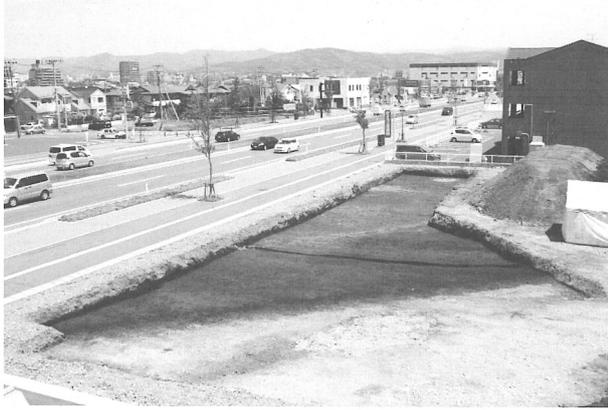
○公共事業関連（盛岡南新都市開発整備事業）

盛南地区遺跡群—^{せいなん}台太郎遺跡^{だい たろう}第65・67～70次調査、^{もとみやくまどう}本宮熊堂B遺跡^{ゆうかく}第33次調査、夕覚遺跡第5～6次調査、^{いゐ おかきわだ}飯岡沢田遺跡第13次調査—

盛岡南新都市開発整備事業（盛南開発）等の大規模区画整理事業に伴うもので、盛岡市都市整備部及び^あ都市再生機構は、^あ岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター及び市教育委員会（遺跡の学び館）に発掘調査の業務を委託し、遺跡の学び館では4遺跡9地点の調査を担当した。遺跡群は北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地し、段丘の基本層序は基底部が水成砂礫層、上部に水成シルト層～表土で、定まらない雫石川の複雑な河道変遷により、シルト層は旧河道のみならず微高地にも堆積し、奈良・平安時代の集落はその微高地に多く分布する。台太郎遺跡は事業区内最大の古代集落跡～中世の居館跡で、今までに約600棟の住居跡を検出。第67次調査では奈良・平安時代の竪穴住居跡2棟、70次調査では同時期の竪穴住居跡4棟、竪穴状遺構4基など、第68次調査では同時期の竪穴住居跡12棟、土坑9基及び中世以降の堀跡2条などを検出。堀跡は調査区西半部で南北方向に1条、東半部でそれに直行する東西方向の堀跡が1条検出され、過去の成果と合わせると、堀を巡らした居館は不整五角形で東西170m、南北120mの規模であることが明らかになった。



第3図 平成21年度 盛南地区発掘調査位置図



本宮熊堂B遺跡 第33次調査区全景



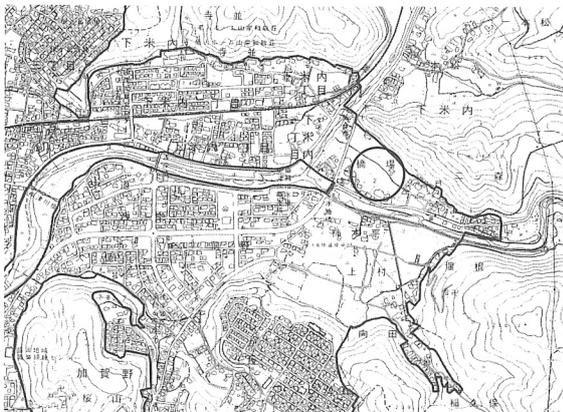
台太郎遺跡 第68次調査区全景

本宮熊堂B遺跡は事業区内の中央部、本宮熊堂A遺跡に隣接し、南半部の野古A・飯岡沢田遺跡とは旧河道を介在する。検出遺構は多くはないが、古代以降の溝跡、遺物では縄文土器も検出された。夕覚遺跡は事業区内南端部東西方向の旧河道により南北を削られた微高地に位置する。周辺域の分布調査により、古代の遺物が確認されているため、第5・6次調査としてトレンチにより試掘調査が実施されたが、今次調査区内では遺構・遺物は確認されていない。

○民間開発関連

(1) 薬師社脇遺跡第7次調査

- | | | | |
|--------|----------------|--------|-----------|
| 1 調査地 | 盛岡市浅岸字橋場19-1ほか | 2 調査事由 | 宅地造成 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成21年6月1日 |
| 5 調査面積 | 513㎡ | 6 調査員 | 花井正香 |
- 7 確認遺構 平安時代の竪穴住居跡10棟、時期不詳の土坑9基、ピット23口
- 8 出土遺物 縄文～平安時代の土器破片
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北東部、中津川と米内川の合流点から東方250mの中津川右岸の低位段丘に立地。現況は休耕田で、計画される宅地造成計画地内に南北方向9本のトレンチを設定。現地表面より約0.25～0.5m下部の地山シルト層及び砂礫層で遺構を確認した。竪穴住居跡等の遺構の検出面からは炭化物・焼土が確認され、また灰白色火山灰を含む住居跡も認められた（遺構検出のみ）。



薬師社脇遺跡第7次調査区位置図

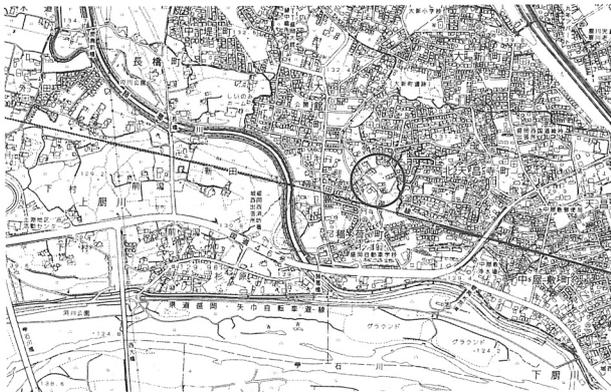


試掘調査状況

(2) ^{いなりちょう}稲荷町遺跡第25次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市大館町322-1ほか | 2 調査事由 | 共同住宅建築 |
| 3 調査方法 | 本調査 | 4 調査期間 | 平成21年5月10日～5月26日 |
| 5 調査面積 | 540㎡ | 6 調査員 | 佐々木亮二 |
| 7 検出遺構 | 江戸時代以降の掘立柱建物跡2棟、竪穴状遺構1基、土坑2基、溝跡1条、柱穴約130口 | | |
| 8 出土遺物 | 16世紀末～17世紀初頭の陶磁器破片など | | |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地の北西部、雫石川と諸葛川の合流点（左岸）の段丘上に立地。現況は畑地で、計画される共同住宅建築の事前調査として実施。これまでの稲荷町遺跡の調査では縄文時代の陥し穴状遺構や中世～近世の掘立柱建物跡などが検出されている。 | | |

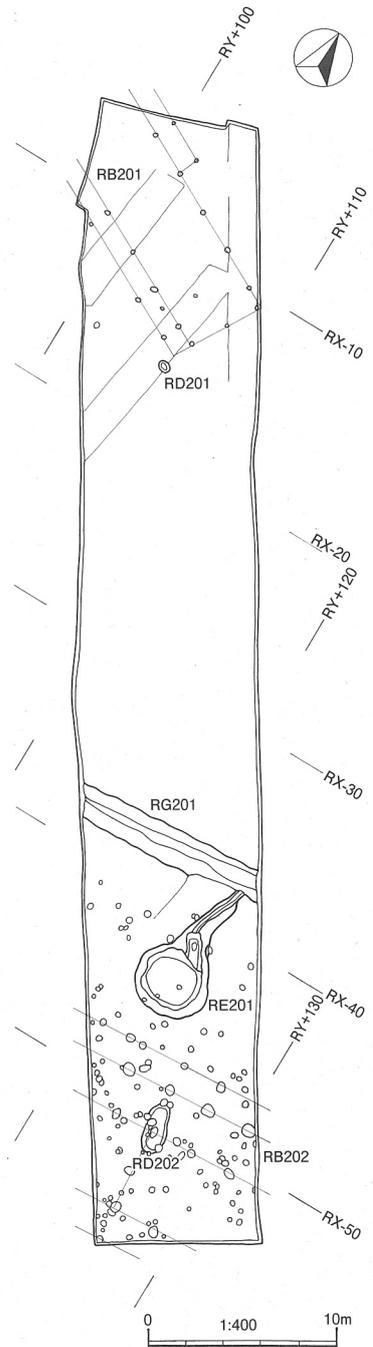
今次調査では江戸時代以降の掘立柱建物跡2棟と竪穴状遺構1基、土坑2基、溝跡1条、柱穴約130口を検出。出土遺物は安土・桃山時代～江戸時代初期の陶磁器（唐津焼皿）が1点出土した。



稲荷町遺跡第25次調査区位置図



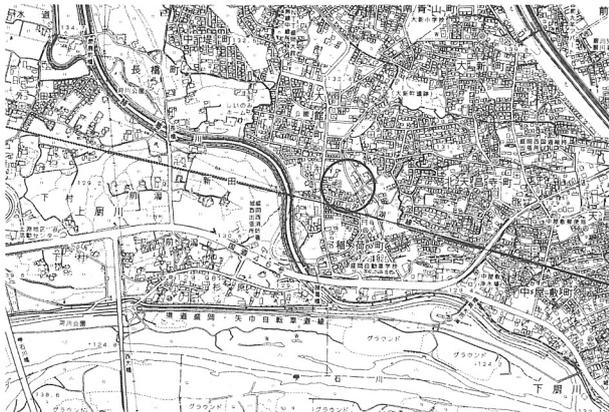
調査区全景



第4図 調査区全体図(1:400)

(3) ^{いなりちょう}稲荷町遺跡第26次調査

- | | | | |
|--------|--------------------|--------|--------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市大館町328-1ほか | 2 調査事由 | 共同住宅建築 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査～遺構保存措置 | 4 調査期間 | 平成21年10月26日 |
| 5 調査面積 | 80㎡ | 6 調査員 | 今野公顕 |
| 7 確認遺構 | 中世～近世の溝跡1条ほか | 8 出土遺物 | 16世紀末～17世紀初頭の陶磁器破片 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北西部、雫石川と諸葛川の合流点（左岸）の段丘上に立地。現況は畑地で、計画される共同住宅建築の事前調査として実施。今次調査では東側トレンチから中近世以降の溝跡1条を確認。検出面から唐津焼の小皿が出土。今次調査の南東では掘立柱建物跡や同時期の陶磁器破片も出土しており、戦国時代末期～江戸時代初頭に居館が営まれていたと考えられる（遺構検出のみ）。



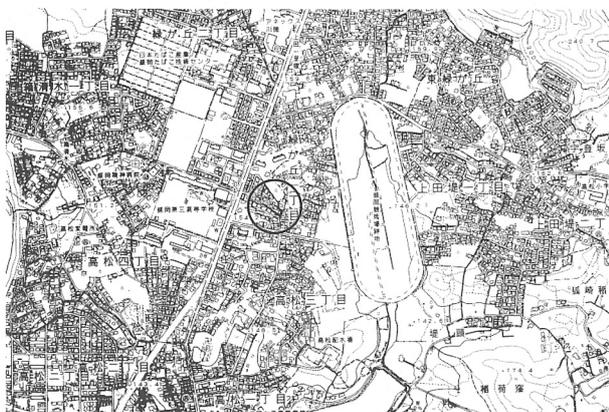
稲荷町遺跡第26次調査区位置図



試掘調査状況

(4) ^{うきょうながね}右京長根遺跡第2次調査

- | | | | |
|--------|-------------------------|--------|----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市緑が丘1丁目59-1ほか | 2 調査事由 | 宅地造成 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成22年3月2日～3月4日 |
| 5 調査面積 | 1,011㎡ | 6 調査員 | 花井正香 |
| 7 確認遺構 | 縄文時代の陥し穴状土坑7基、時期不詳の土坑1基 | 8 出土遺物 | なし |
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北部、北上川左岸の丘陵地に立地。現況は畑地で、計画される宅地造成の事前協議に伴い、トレンチによる事前調査を実施。対象予定地区内の中央部及び低地を挟んだ北半部から縄文時代の陥し穴状遺構を確認した（遺構検出のみ）。



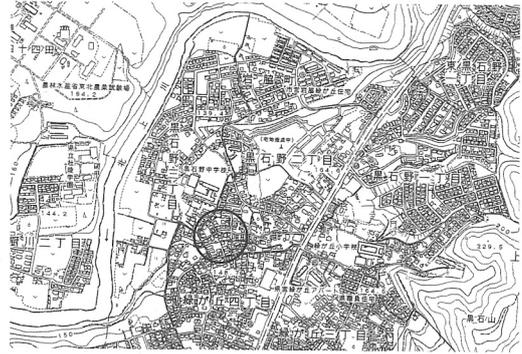
右京長根遺跡第2次調査区位置図



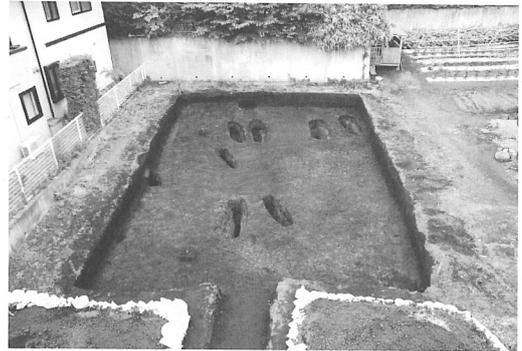
試掘調査状況

(5) ^{にしくろいしの}西黒石野遺跡第12次調査

- 1 調査地 盛岡市黒石野2丁目28-1ほか
- 2 調査事由 共同住宅建築
- 3 調査方法 本調査
- 4 調査期間 平成21年6月1日～6月22日
- 5 調査面積 430㎡ 6 調査員 佐々木亮二
- 7 検出遺構 縄文時代陥し穴状遺構10基、江戸時代以降の大溝跡1条、時期不詳の溝跡1条、土坑1基
- 8 出土遺物 縄文土器破片、江戸時代の陶磁器破片など
- 9 調査概要 遺跡は市街地の北西部、南流する北上川左岸の火山灰砂台地の緩斜面に立地。調査区上方の表土下から集中した状態で陥し穴状遺構10基を検出。周辺状況から丘陵地一帯が狩猟場であったと考えられる。また下方から江戸期以降と考えられる大溝跡1条が検出されているが、調査区南方には旧河川が西流していた時期もあり、関連性が示唆される。



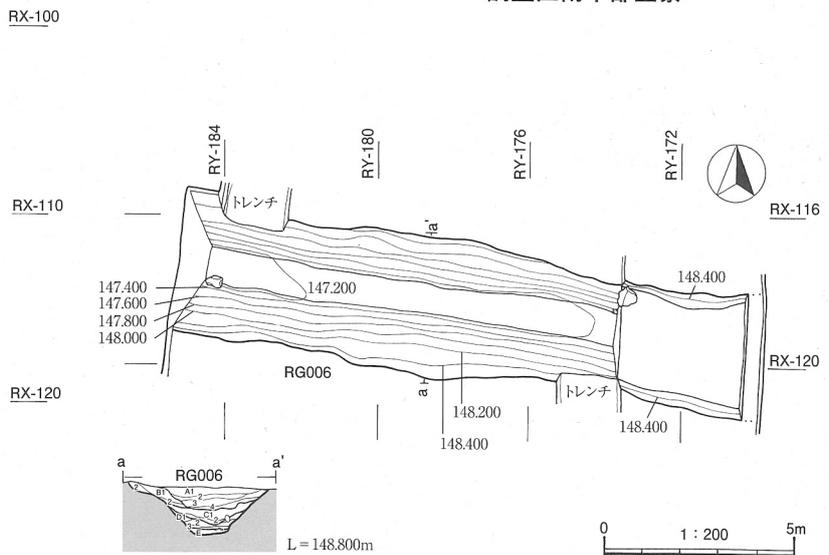
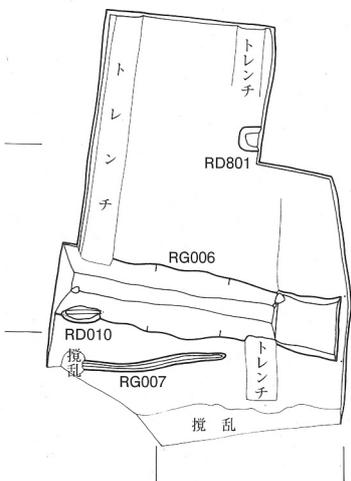
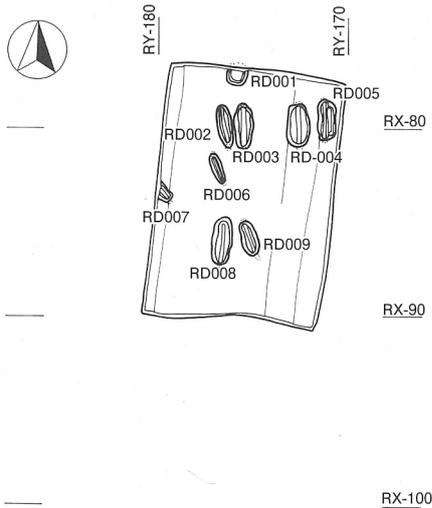
西黒石野遺跡第12次調査区位置図



調査区北半部全景



調査区南半部全景

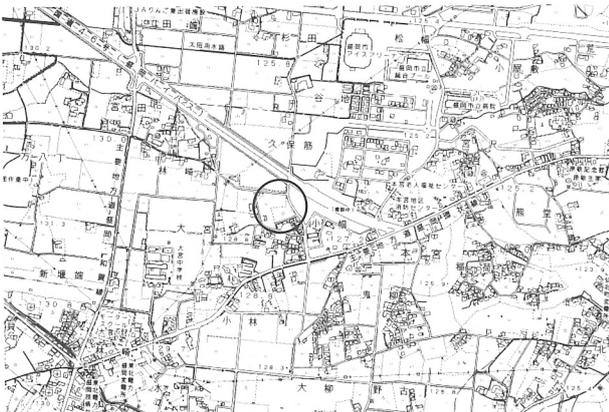


第5図 西黒石野遺跡第12次調査区全体図 (1 : 400)

第6図 R G006大溝跡

おのみやきた
(6) 大宮北遺跡第15次調査

- | | | | |
|--------|-------------|--------|------------|
| 1 調査地 | 盛岡市本宮字小幡2-1 | 2 調査事由 | 駐車場造成 |
| 3 調査方法 | 試掘調査～遺構保存措置 | 4 調査期間 | 平成21年5月19日 |
| 5 調査面積 | 244㎡ | 6 調査員 | 今野公顕 |
- 7 確認遺構 平安時代の掘立柱建物跡柱穴1口、土坑7基、溝跡1条
8 出土遺物 平安時代のあかやき土器・土師器破片
9 調査概要 遺跡は市街地の南西部、平安時代の城柵志波城跡外郭東辺から東方500m、北上川と雫石川によって形成された沖積段丘上に立地する。トレンチによる試掘調査で現地表面から約0.15～0.25m下部の褐色土層面で遺構確認を行なった。検出された遺構は過去に周辺域の調査で検出された平安時代（10世紀半ば頃）の大形掘立柱建物跡等の時代に関連するものと考えられる（遺構検出のみ）。



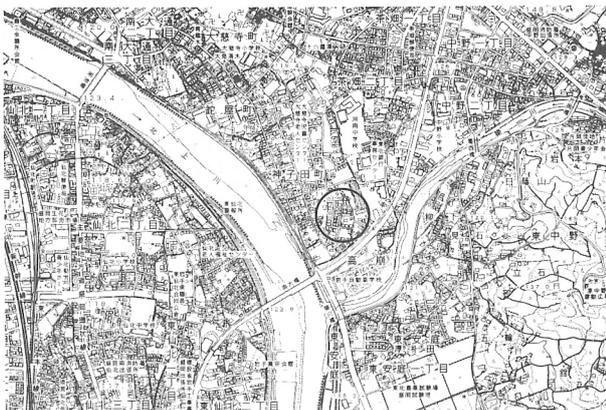
大宮北遺跡第15次調査区位置図



試掘調査状況

しんざんだて
(7) 新山館遺跡第11次調査

- | | | | |
|--------|----------------|--------|-------------|
| 1 調査地 | 盛岡市茶畑2丁目31-1-2 | 2 調査事由 | 駐車場造成 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成21年12月24日 |
| 5 調査面積 | 92㎡ | 6 調査員 | 今野公顕 |
- 7 確認遺構 平安時代の竪穴住居跡2棟、中世以降の溝跡3条
8 出土遺物 平安時代の土器（土師器坏・甕、須恵器甕）破片
9 調査概要 遺跡は市街地の南部、北上川と築川の合流点に形成された河岸段丘上に立地し、築川右岸に位置する。調査区に南北方向のトレンチを設定し、試掘調査を実施。現地表面から0.5～1.0m下部の暗褐色土～褐色土層面で確認作業を行なった。確認された遺構から古代の集落及び中世以降の居館等が存在が想定される（遺構検出のみ）。



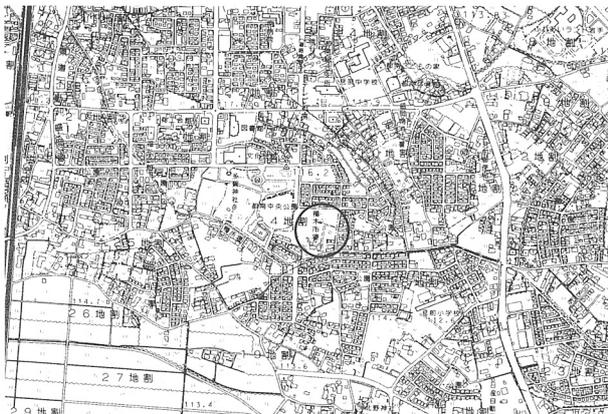
新山館遺跡第11次調査区位置図



試掘調査状況

(8) ^{たかやくら}高櫓A遺跡第4・5次調査

- | | | | |
|--------|---|--------|-----------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市永井第24地割34-2ほか | 2 調査事由 | 宅地造成 |
| 3 調査方法 | 試掘調査～本調査 | 4 調査期間 | 平成21年4月6日、6月29日～7月15日 |
| 5 調査面積 | 1,400㎡ | 6 調査員 | 花井正香、佐々木亮二 |
| 7 検出遺構 | 奈良時代の竪穴住居跡9棟（2棟は3次調査に続く）、土坑6基、溝跡1条、焼土遺構1基 | | |
| 8 出土遺物 | 奈良時代の土師器（甕・坏）、土製品（紡錘車）、砥石 | | |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地南部の都南地区に位置する。北上川右岸の旧奥州道中沿いの微高地（低位段丘）には百目木遺跡や西鹿渡遺跡など大規模な古代集落跡が確認されており、本遺跡も過去の調査成果から見て、まとまりを持った集落跡と考えられ、今次調査でも約7m四方の家父長クラスの住居から2.2mクラスの小形の住居など、多数の遺構が検出された（本報告書刊行済み）。 | | |



高櫓A遺跡第5次調査区位置図



調査区全景

(9) ^{にしかど}西鹿渡遺跡第25次調査

- | | | | |
|--------|--|--------|-------------|
| 1 調査地 | 盛岡市三本柳第2地割32-1 | 2 調査事由 | 民間福祉施設建設 |
| 3 調査方法 | トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 | 平成21年12月25日 |
| 5 調査面積 | 282㎡ | 6 調査員 | 今野公顕 |
| 7 確認遺構 | 奈良時代の竪穴住居跡2棟 | 8 出土遺物 | 奈良時代の土器破片 |
| 9 調査概要 | 遺跡は市街地南部の都南地区、北上川右岸の自然堤防上（低位段丘）に立地し、古代の大規模集落跡が確認された百目木遺跡の北部に位置する。造成予定地内に東西方向4本のトレンチを設定し、検出作業を行なった結果、北半部から竪穴住居跡が2棟確認した（遺構検出のみ）。 | | |



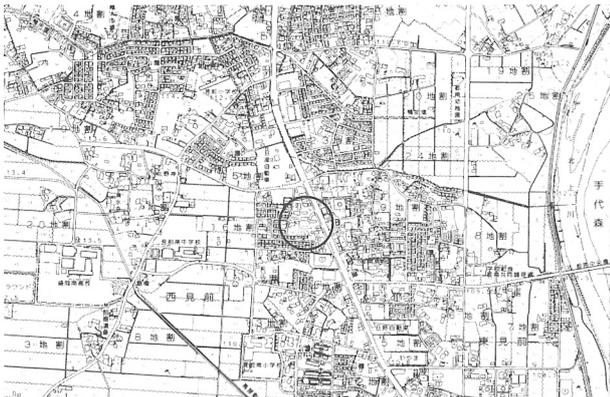
西鹿渡遺跡第25次調査区位置図



試掘調査状況

(10) ^{ふるだて}古館遺跡第9次調査

- | | | | |
|--------|-------------------|--------|----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市西見前第15地割9-1 | 2 調査事由 | 共同住宅建築 |
| 3 調査方法 | 試掘調査～遺構保存措置 | 4 調査期間 | 平成21年4月10日 |
| 5 調査面積 | 70㎡ | 6 調査員 | 室野秀文 |
| 7 確認遺構 | 平安時代の竪穴住居跡2棟、土坑3基 | 8 出土遺物 | 平安時代の土師器・須恵器破片 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地南部の都南地区、北上川右岸の低位段丘に立地し、遺跡の中央に旧奥州道中(街道)が縦貫している。計画される敷地内に東西方向3本のトレンチを設定。中央部と北半部から竪穴住居跡及び土坑が確認された(遺構検出のみ)。



古館遺跡第9次調査区位置図

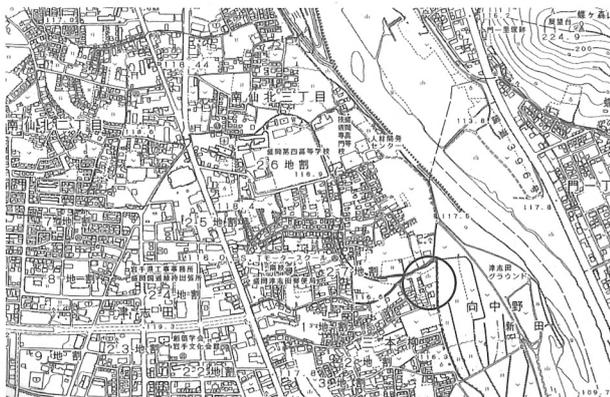


試掘調査状況

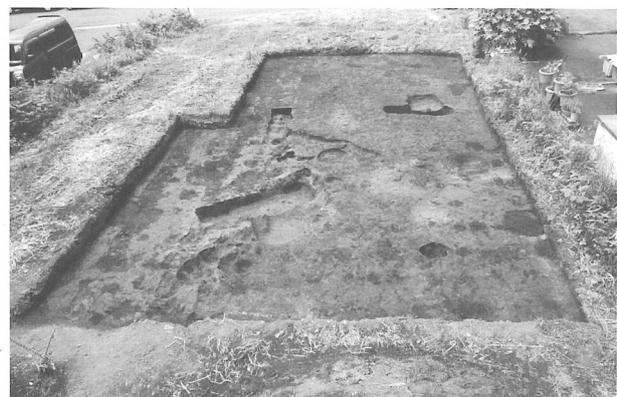
○個人住宅建築等

(1) ^{にしかど}西鹿渡遺跡第23次調査

- | | | | |
|--------|-------------------|--------|-----------------|
| 1 調査地 | 盛岡市三本柳第2地割16-35 | 2 調査事由 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 本調査 | 4 調査期間 | 平成21年6月1日～6月12日 |
| 5 調査面積 | 80㎡ | 6 調査員 | 菊地幸裕、鈴木賢治 |
| 7 確認遺構 | 時期不詳の竪穴状遺構1基、土坑3基 | 8 出土遺物 | 奈良時代の土器破片約100点 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地南部の都南地区、北上川右岸の自然堤防上(低位段丘)に立地する。3月18日実施の試掘調査で確認された遺構を精査し、奈良時代(8世紀頃)と考えられる隅丸長方形ないし不整円形の土坑を検出した。



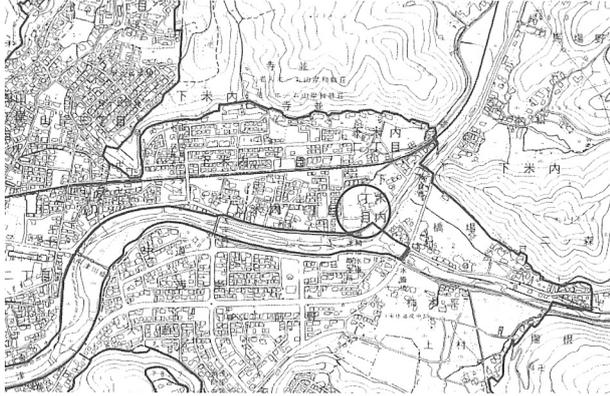
西鹿渡遺跡第23次調査区位置図



調査区全景

(2) ^{しんせきばた}新堰端遺跡第10・11次調査

- | | | | |
|--------|---------------|--------|------------------------|
| 1 調査地 | 盛岡市下太田字新堰端2-9 | 2 調査事由 | 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 | 試掘～本調査 | 4 調査期間 | 平成21年8月11日、8月19日～8月31日 |



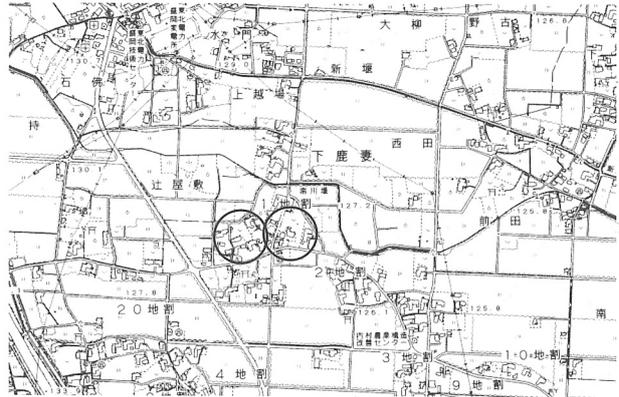
落合遺跡第16次調査区位置図



試掘調査状況

(4) ^{ふたまた}二又遺跡第8次調査

- 1 調査地 盛岡市下飯岡第1地割34-1ほか
- 2 調査事由 個人住宅建築
- 3 調査方法 トレンチによる試掘調査
- 4 調査期間 平成21年10月26日
- 5 調査面積 118㎡
- 6 調査員 今野公顕
- 7 検出遺構 近現代以降の溝跡1条
- 8 出土遺物 なし
- 9 調査概要 遺跡は市街地の南西部、北上川と雫石川によって形成された沖積段丘の微高地に立地する。トレンチによる試掘調査で現地表面から約0.5～1.0m下部の褐色土層面で遺構確認を行なった。調査区の南半部の多くは低地となり、東寄りに南北方向の溝跡を確認。掘込面及び埋土状況から近現代以降の時期に属すると考えられる。



二又遺跡第8・9次調査区位置図

(5) ^{ふたまた}二又遺跡第9次調査

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 調査地 盛岡市下飯岡第1地割56-9 | 2 調査事由 個人住宅建築 |
| 3 調査方法 トレンチによる試掘調査 | 4 調査期間 平成22年3月4日 |
| 5 調査面積 171㎡ | 6 調査員 今野公顕 |
| 7 検出遺構 平安時代の竪穴住居跡6棟 | 8 出土遺物 平安時代の土器破片 |
- 9 調査概要 遺跡は市街地の南西部、北上川と雫石川によって形成された沖積段丘の微高地に立地する。トレンチによる試掘調査で現地表面から約0.25～0.4m下部の褐色土層面で遺構確認を行なった。調査の結果、平安時代の竪穴住居跡と考えられる一辺3～4mの方形のプランが6箇所を確認された。今次調査区は東側に旧河道を望み、段丘縁辺部に位置することから、集落の中心部と想定される。



第8次 試掘調査状況



第9次 試掘調査状況

報告書抄録

ふりがな		もりおかしいせきのまなびかん へいせい21ねんど かんぼう						
書名		盛岡市遺跡の学び館 平成21年度 館報						
編著者名		千田和文 菊地幸裕 津嶋知弘 神原雄一郎 佐々木亮二 鈴木賢治 佐々木紀子						
編集機関		盛岡市遺跡の学び館						
所在地		〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番地1 TEL 019-635-6600						
発行年月日		2011年2月28日						
所収遺跡名	所在地	コード		北緯 (世界測地系)	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
しわじょうあと 志波城跡 (103次A区・B区)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 (A区) 下大田方八丁17地内 (B区) 下大田方八丁68地内	03201		39° 41' 18"	141° 06' 44"	2009.10.19 ~ 12.18	1,159	史跡整備に係る遺構内容確認
つなぎ 繫V遺跡 (36次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 つなぎあざだていち 繫字館市114-1	03201		39° 40' 26"	141° 01' 08"	2009.5.7 ~ 12.24	1,752	学校校舎増改築工事
たがい 田貝遺跡 (13次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 かみづまながい 上鹿妻田貝40-11ほか	03201		39° 40' 54"	141° 06' 15"	2009.9.7 ~ 12.9の間 (延べ10日間)	363	下水道工事
せいなんちく 盛南地区遺跡群 (4遺跡9地点)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 むかいのめがきかいなかの 向中野字向中野40-16ほか	03201		39° 40' 53"	141° 08' 18"	2009.4.17 ~ 12.24	23,750	大規模区画整理
やくししゃき 薬師社脇遺跡 (7次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 あさきしあざはしほ 浅岸字橋場19-1ほか	03201		39° 42' 46"	141° 11' 12"	2009.6.1	513	宅地造成
いなりちよう 稲荷町遺跡 (25・26次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 (25次) 大館町322-1ほか (26次) 大館町328-11ほか	03201		39° 42' 26"	141° 06' 49"	(25次) 2009.5.10 ~ 5.26 (26次) 2009.10.26	(25次) 540 (26次) 80	(25次) (26次) 共同住宅建築
うきょうなかね 右京長根遺跡 (2次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 むらぎのめがきかいなかの 緑が丘1丁目59-1ほか	03201		39° 43' 52"	141° 08' 34"	2009.10.26	1,011	宅地造成
にしくろいしの 西黒石野遺跡 (12次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 むかいのめがきかいなかの 黒石野2丁目28-1ほか	03201		39° 44' 20"	141° 08' 50"	2009.6.1 ~ 6.22	430	共同住宅建築
おおみやきた 大宮北遺跡 (15次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 もみやあざはしほ 本宮字小籠2-1	03201		39° 41' 07"	141° 07' 00"	2009.5.19	244	駐車場造成
しんざんだて 新山館遺跡 (11次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 ちほなほ2ちやうめ 茶畑2丁目31-1ほか	03201		39° 41' 17"	141° 09' 49"	2009.12.24	92	駐車場造成
たかやぐら 高槽A遺跡 (4・5次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 (4・5次) ながい24ちやうめ 永井第24地割34-2ほか	03201		39° 39' 01"	141° 09' 27"	(4次:試掘) 2009.4.6 (5次:本調査) 2009.6.29 ~ 7.15	1,400	宅地造成
にしきと 西鹿渡遺跡 (23・25次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 (23次) 二本柳第2地割16-35ほか (25次) 二本柳第2地割32-1	03201		39° 39' 52"	141° 09' 49"	(23次) 2009.6.1 ~ 6.12 (25次:試掘) 2009.12.25	(23次) 80 (25次:試掘) 282	(23次) 個人住宅建築 (25次:試掘) 民間福祉施設建設
みながて 古館遺跡 (9次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 にふらるあざはしほ 西見前第15地割9-1	03201		39° 38' 37"	141° 10' 04"	2009.4.10	70	共同住宅建築
おちかい 落合遺跡 (16次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 しもなない1ちやうめ 下茶内1丁目139-1の一部	03201		39° 42' 50"	141° 11' 03"	2009.8.11	96	個人住宅建築
しんせきばた 新堰端遺跡 (10・11次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 (10・11次) 下大田新堰端2-9	03201		39° 40' 55"	141° 06' 33"	(10次:試掘) 2009.8.11 (11次:本調査) 2009.8.19 ~ 8.31	(10次) (11次) 233	個人住宅建築
ふたまた 二又遺跡 (8・9次)	いわてけんもりおかし 岩手県盛岡市 (8次) 下飯岡第1地割34-1ほか (9次) 下飯岡第1地割36-9	03201		39° 40' 19"	141° 07' 02"	(8次) 2009.10.26 (9次) 2010.3.4	(8次) 118 (9次) 171	個人住宅建築
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
志波城跡 (103次A区、B区)	城柵	平安時代	近現代以降の上坑状の堀割痕1箇所、 風倒木痕3箇所	平安時代の土師器・あかやき土器・須恵 器破片10点、近現代の陶磁器破片5点	遺構確認調査			
繫V遺跡 (36次)	集落	縄文時代中期	縄文時代竪穴住居跡13棟、土坑51基、 柱穴271口	縄文土器・石器	18年度からの継続 調査			
田貝遺跡 (13次)	集落	平安時代	平安時代の竪穴住居跡3棟	平安時代の土器破片	試掘→本調査			
盛南地区遺跡群 (4遺跡9地点)	集落	奈良・平安時代～中・近世	奈良～平安時代の竪穴住居跡、竪穴 状遺構、堀跡、溝跡、土坑・ピットな ど	土師器、須恵器、あかやき土器、陶磁 器、鉄製品				
薬師社脇遺跡 (7次)	集落	平安時代	平安時代の竪穴住居跡10棟、時期不 詳の土坑9基、ピット23口	縄文・平安時代の土器破片	工事中止			
稲荷町遺跡 (25次)	集落・居館跡	古代末～中世・近世	江戸時代以降の竪穴柱建物跡2棟、 竪穴状遺構1基、土坑2基、溝跡1 条、柱穴約130口	16世紀末～17世紀初頭の陶磁器破片 など	遺構保存措置			
稲荷町遺跡 (26次)	集落・居館跡	古代末～中世・近世	時期不詳の溝跡1条	出土遺物なし	遺構保存措置			
右京長根遺跡 (2次)	遺物散布地	縄文時代	縄文時代の陥し穴状遺構7基、時期 不詳の土坑1基	出土遺物なし	工事中止			
西黒石野遺跡 (12次)	集落	縄文時代	縄文時代陥し穴状遺構10基、江戸時 代以降の大溝跡1条、時期不詳の溝 跡1条、土坑1基	縄文土器破片、江戸時代の陶磁器破片 など				
大宮北遺跡 (15次)	集落	古代	平安時代の竪穴柱建物跡柱穴1口、 土坑7基、溝跡1条	平安時代の土器破片	遺構保存措置			
新山館遺跡 (11次)	集落・居館跡	古代～中世・近世	平安時代の竪穴住居跡2棟、中世以降 の溝跡3条	平安時代の土器破片	遺構保存措置			
高槽A遺跡 (4・5次)	集落	古代	奈良時代の竪穴住居跡9棟 (2棟は 3次調査に続く)、土坑6基、溝跡1 条、焼土遺構1基	奈良時代の土師器 (甕・坏)、土製品 (紡 錘車)、砥石	試掘→本調査			
西鹿渡遺跡 (25次)	集落	古代	古代の竪穴住居跡2棟	出土遺物なし	22年度本調査予定			
古館遺跡 (9次)	集落	古代	古代の竪穴住居跡2棟	出土遺物なし	遺構保存措置			
落合遺跡 (16次)	集落	縄文時代後期～晩期、古代・中世	時期不詳の上坑1基、ピット3口及び 縄文時代の遺物包含層	縄文時代後期～晩期の土器・石器	遺構保存措置			
新堰端遺跡 (10・11次)	集落	縄文時代・古代	平安時代の志波城期の溝跡1条	土師器破片	試掘→本調査			
二又遺跡 (8・9次)	集落	平安時代	平安時代の竪穴住居跡6棟、溝跡1 条	平安時代の土器破片	22年度本調査予定			

盛岡市遺跡の学び館 平成21年度 館報

2011年2月28日 発行

発行 盛岡市遺跡の学び館
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋13番1号
電話 019-635-6600 FAX 019-635-6605
E-mail iseki@city.morioka.iwate.jp
URL [http://www.city.morioka.iwate.jp/14kyoiku/
iseki/manabikan/index.html](http://www.city.morioka.iwate.jp/14kyoiku/iseki/manabikan/index.html)

印刷 株式会社白ゆり
〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ6丁目1-50
電話 019-643-6060